

科目名	舞台総合実習							年度	2025
英語科目名	Stage Overall Training							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 1 年次	必／選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習+実技
担当教員				教員の実務経験		実務経験の職種			
【科目の目的】									
前期後期で学んだ演技の基礎を基に、全員が心をつ一つにして作品を作り上げ、それを舞台上で発表することを前提とする。キャストティングに基づき各自役作りすると共に、衣裳、小道具、演出助手等、舞台作りに必要な役割も分担して行う。最終的に観客に作品を発表し評価を得ることで、達成感や満足感を得、それと同時に、これからの自分の課題などを発見する。									
【科目の概要】									
この科目を受講する学生は1年次に学んだことを総括し、現状から将来にかけて更なる演技力を身に付けるために演劇公演に出演する。 声優・俳優になるための知識、台本の読解、技術のスキルアップとともに演劇が作られるプロセスを知り演者以外のスタッフがどのようにかかわっているか学ぶことを目的とする。									
【到達目標】									
台本を読み、作品の世界、役の人物を理解し、一緒に演じる人達と稽古を重ねて共有して行き、台詞を覚えて喋り、動きを考え、一つの芝居を創り上げて行くことを目標とする。									
【授業の注意点】									
声優・俳優にとってコミュニケーション能力が大切なので、基本であるあいさつがしっかり出来るようになり公演にかかわる人達と積極的に話をし稽古を重ねて行けるようにする。 又、理由のない遅刻や欠席はしないようにする。 授業時数の4分3以上出席しない者は試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	腹式呼吸が完璧にできており、長い台詞・短い台詞を正しい発声法とブレスポイントを駆使することができる。	概ね腹式呼吸ができているが、息の量が少なくなった時に咽頭への力みが生じる発声をしている。	腹式呼吸を理論的に理解しているが、訓練不足により結果が出ていない。	腹式呼吸を理論的に理解できず、訓練方法の意図も理解できていない。	腹式呼吸やその訓練の重要性を理解せず、授業内において出席意欲を感じられない。				
到達目標 B	初見の課題において、母音・子音・鼻濁音・母音の無声化を的確に区別し、台詞として表現することができる。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化を自力で区別することができ、実践することができる。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解することができるが、自力で区別することができない。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解することができず、区別していうことができない。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解しようとせず、授業内において出席意欲を感じられない。				
到達目標 C	戯曲の内容・登場人物・作者の意図を自分なりに解釈し、作品について語ることができる。	戯曲の内容・登場人物・作者の意図を自分なりに解釈し、作品のテーマを理解している。	戯曲の内容・登場人物の相関を理解している。	戯曲の内容・登場人物の相関を理解しようとする意欲は見える。	戯曲を読解しようとする意欲がない。				
到達目標 D	自分の役割を理解し、自己都合を一切感じさせず他者の感情に訴えかける表現を行うことができる。	自分の役を理解し、他者の感情を考慮しながら“役としての”コミュニケーションを図ることができる	自分の役を理解し、他者の感情を考慮し用としているが“役としての”コミュニケーションを図ることができない。	自分の役を理解できず、他者と目を合わせてコミュニケーションを図ることができない。	自分の役を理解しようとせず、他者とコミュニケーションを図ろうとしない。				
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い				
【教科書】									
公演作品の台本を稽古開始日に配布する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
成果発表	50%	授業時間内に行われる発表にて評価する							
平常点	40%	欠席・遅刻、授業への取り組む姿勢で評価する							
課題点	10%	課題への取組みで評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

